

桜島地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成24年6月29日(金)18:30~19:30

場所:東桜島公民館

※ 平成24年度 第2回目

平成24年8月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30

場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	地元消防団 男性	① 桜島は歩行者が非常に多くなり、季節によって高校や中学、一般といった団体が増えたことから、民家に「トイレを貸してほしい。」と飛び込んでくるケースがある。 例えば1kmなど(一定の間隔で)、目につくところに公衆トイレがあればいいのと感じている。	① そういった施設はそれぞれの地域に整備すべきという考えで、今回、黒神地区にトイレを整備しましたので、観光客の方々にも利便性を感じていただけるのではないかと思います。 また、それぞれの公共施設や公園にもトイレがありますので、ご案内いただく際にそれらを活用していただければと思います。トイレの設置箇所等について、公園や学校、公共施設の位置などを含めて点検させてみたいと思います。 多くの皆さんに桜島に来ていただくことが地域の活性化に繋がりますので、そういった利便性も高めていかなければならないと思っています。	経済局	現在、「桜島ガイドブック」に、袴腰周辺のトイレ位置情報を掲載しておりますが、島内全域につきましても、観光客が利用できるトイレの設置箇所等を確認し、掲載したいと考えております。
		② 道路は整備されているが、地域の高齢化が進み、私有地の雑草が道路に覆い被さっているところがあるので、市の予算で伐採してほしい。	② 市が所有する土地であれば、しっかりと雑草の手入れをしていきたいと思いますが、個人の土地であれば基本的には所有者に雑草の除去を行っていただかなければならないと思います。 また、農道であれば、地域の方々の要望をお聞きして、行政としても対応できるのではないかと思います。	経済局 建設局	(経済局) 農道伐採は、要望に基づき地元と協議を行ったうえで必要性が確認できたときは、市が予算の範囲で地元で替わって実施します。 (建設局) 市長回答のとおりですが、一部、道路交通に支障を来す恐れがある箇所については、所有者の承諾を得て定期的な草払いを行っています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	かごしま市商工会桜島支部 男性	<p>③ 桜島では毎年、防災訓練を行っており、フェリーやヘリコプターを使った人命救助を何十年もやっているが、東北大震災の状況を見ると、桜島の何千人という住民を緊急に搬送できるか不安に思う。</p> <p>今は車の時代なので、災害時に車で避難する方が多いのではないかと。市道や県道、国道が海岸線を走っているが、いざという時にこれで間に合うのか。花火大会の時などは、車がいっぱい立往生している。</p> <p>そこで、山手の方に避難道を兼ねた大きな道路をもう一本通せないか。(噴火の状況によっては)それを避難場所にも利用できるのではないかと。</p>	<p>③ 桜島の爆発回数が年々増え、皆さんも不安に感じておられると思います。そういった中で、避難経路をどうするかということも重要です。毎年、1月12日の防災訓練では、フェリーやヘリコプターを使って、国・県・市と地域の皆さんが一緒になって、避難をするための対策・対応をしているところですが、道路整備も課題のひとつであると思います。</p> <p>今、国道・県道はそれぞれ国・県に整備を進めていただいているのですが、皆さんに満足していただける状況に至っていないと私も感じています。そういった観点から、毎回のように国や県に要望していますが、まだ、既存の道路がしっかり整備されておりませんので、早く整備を進めていただき、通行に支障が無いように対応していきたいと考えています。</p> <p>その後、お話のあったような避難道路の再編成も考えていかなければならないと思いますが、また、県道等についても黒神から白浜へつながる道は狭いですし、既存道路の整備を国や県に対して要望していければと思います。</p>	市民局 建設局	市長回答のとおり
		<p>④ 昭和60年頃に、国の補助で畑の降灰除去をやっていた。昨年から降灰量が多くなって、側溝が詰まってしまうので、農地の降灰除去をしてほしい。</p>	<p>④ ビニールハウスへの補助等の防災営農対策については、降灰対策事業の一環として、毎年、国に陳情をしています。これまで、防災営農対策は国の直接補助でしたが、今の政権になって制度を編成する中で事業仕分けのような形になりました。今は一括交付金の形で県へ交付され、県は防災営農だけでなく農政全般の事業に対して補助を出すようにしていますので、縮小されている面があります。</p> <p>本市としては元の制度に戻してほしいと国に要望しており、7月にも県と一緒に要望に行きます。対策協議会の会長を私がしており、国の機関や政府の担当の方々には話をしたいと思っていますので、ご理解いただきたいと思っています。</p>	経済局	農地内の降灰除去の災害復旧に対しては国や県の支援がございませぬ。採択にあたり降灰の粒径及び厚さなど採択基準があり、基準に合致すれば県等と協議を行い対処してまいります。
		<p>⑤ 旧桜島町の時代からやっている事業で、荒地を開墾する「よみがえれ農地事業」の内容が23年度から変わり、自分の土地の荒地は対象外となった。定年になって規模拡大しようとする時に、自分が所有する荒地を放っておいて、よその荒地を借りて事業をしなければならぬのか。</p> <p>昨年も、農家の多くは人から土地を借りてまでは出来ぬという申請しなかつた。なぜ、そのように変更したのか。</p>	<p>⑤ 「よみがえれ農地事業」は遊休農地を有効活用していただく目的で始めた事業で、お話のありましたように、担い手不足で高齢者の対応がなかなか捗らぬということで補助しています。ご自分の土地が遊休農地になっているのであれば、自分でやっていたのが基本だと思ひます。この事業で補助するということは、遊休農地を少しでも少なくしたいということと、例えば、若い人達が遊休農地を活用してこれから農業に携わる場合などを対象にしています。</p> <p>今、「多くの方々理解されず、申請もしなかつた。」というお話でしたので、実態を確認させていただいて、「自分が所有する遊休農地に対して補助を」という大多数のご意見があれば、検討していかねばならぬと思ひますが、この事業は桜島地域だけでなく、市内に点在する遊休農地を解消するため、他の皆さんがそこを活用して農業に勤しんで生計を立てていく、そういった観点での補助事業と認識していますので、ご理解いただきたいと思ひます。調査してみます。</p>	経済局	よみがえれ農地事業については、これまで桜島地域を対象として取り組んでまいりましたが、遊休農地の有効活用施策であることから、他地域の遊休農地の活用を進めるため、平成23年度から国の事業も導入し、本市農業振興地域内の遊休農地で、5年以上貸借された農地の再生を事業対象として、推進に努めているところでございませぬ。 <p>事業対象農地の要件等については、国の事業導入に伴い、国の要件に合わせ変更したものであり、このことにつきましてはご理解を賜りたいと考えております。</p> <p>今後の事業推進にあたりましては、各地域での事業説明会等を通じ、事業内容等の説明を行ったところでございませぬが、農家の方々の理解が深まっていない状況にありますことから、今後地域での研修会等での説明や農業委員会と連携し、地域の農業委員を通じた推進等に努めてまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	みんなの桜島協議会 男性	⑥ 桜島には観光協会が無く、その役割を担っているのが“みんなの桜島協議会”ではないかと思っている。桜島に関する情報の発信や魅力のPR、取材の対応といった仕事を、ほぼボランティアでやっている状態だ。 観光に関して桜島は特別な地域で、観光協会のような役割はしっかりとやっていった方がいいと思うので、補助金や業務委託といったような、観光協会の役割を担っていけるような形にしていただければと思う。	⑥ 桜島の情報発信に大変なご努力をいただいていることに心から感謝申し上げます。 少しではございますが、“桜島島内の体験プログラム集”作成への助成など、各種事業に取り組む中でひとつひとつの事項については補助していると思っています。観光は、桜島をはじめ、今後の鹿児島市全体の発展の大きな基礎になると思いますし、色々な事業を観光に結び付け、交流人口を増やしていければと考えておりますので、今、活動されている皆さんに何らかのお手伝いできればと思っています。	経済局	「みんなの桜島協議会」への支援につきましては、今年度以降も、体験プログラム集の作成やロゲイニングイベント開催等の補助を行っていく予定でございます。
		⑦ 市でも桜島をジオパークにしようと取り組んでおられると思うが、来年はヤブセイ総会も控えている。 今後、桜島の地域活性化や観光、教育の分野で良い形で進んでいってほしいと思うので、ジオパークにもしっかり予算をつけていただき、継続的に進めてほしい。	⑦ ジオパークについては24年度に予算を組み、できるだけ早い時期に世界ジオパークの認定を受けたいと考えています。霧島でも、一步先んじてそのような取組を行ってようですが、お話のありましたようにヤブセイ大会がありますし、大正大噴火100周年事業もありますので、桜島の魅力を多くの方々に体感していただき、発信していただける機会になるのではないかと思います。 ヤブセイ大会をしっかり踏まえる中で、ジオパークについても、皆さんのご協力をいただけるように取り組んでいければと思っています。	企画財政局 市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>⑧ 防災や観光とも関連するが、市民が桜島について学ぶ機会が確保されているわけではなく、桜島について知っているようで知らないことは多い。</p> <p>地元の子供達が桜島のことをしっかり学ぶことができれば、防災上も意味があると思うし、市の観光未来戦略の中でも、市民が桜島や鹿児島のことについて学ぶ機会があれば、その良さを観光客にアピールできる、と言われている。</p> <p>そういった意味で、桜島のことをしっかり学べるような教材や、学校で教える仕組みといったものを整えてほしい。</p>	<p>⑧ 桜島は鹿児島島の一番大きなシンボルであり、財産だと思っています。降灰の被害は受けるけれども、多くの方々にとって桜島を見ると、「鹿児島に帰って来たと感じる。」「鹿児島に住んでいて良かった。」というのが共通の認識だと思いますので、このことについて教育の現場やそれぞれの地域でも情報発信ができればと思います。</p> <p>ひとつには、この地域(＝桜島)でそういう教材を作っていたら、市としてもそれらを各地域に発信できればと思います。</p> <p>例として、郡山地域まちづくりワークショップの方々が、郡山の色々な情報を掲載した冊子を作っていますので、桜島でもそういったものを活用しながら、教材の中でもいいし地域の色々な取組の中でも紹介をしていければと思っています。</p> <p>桜島ミュージアムの活動の中で、桜島の歴史や魅力等について発信していただいています。それらをお互いに共有しながら、是非、多くの鹿児島の方々にそのことを植え付けていければと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。</p>	<p>市民局 経済局 教育委員会</p>	<p>(市民局) 地域の方々が主体となって運営されている「桜島地域まちづくりワークショップ」では、活動の一つとして「地域情報誌」づくりに取り組まれています。市としましても、このような活動をされている郡山、桜島地域の他、11地域で行われている「地域まちづくりワークショップ」に対し支援しています。</p> <p>(経済局) 市民の皆様がふるさとの良さ・資源を再認識できる機会をつくり、官民一体となった「おもてなし」の向上を図るために、学校や町内会、事業者、NPOなど市内の団体が行う観光関係の研修会に講師を派遣する「もっと知ろうよ観光かごしま講師派遣事業」を本年度から実施しているところでございます。</p> <p>(教育委員会) 学校では、桜島を素材として、様々な教育活動を行っております。</p> <p>一例として、小学6年理科「土地のつくりと変化」、中学1年理科「火山と地震」の単元では、教科書に桜島についての記述があり、児童生徒は、噴火のしくみや火山噴出物、大地の変化等について学習しておりますほか、小学4年社会では、市教委作成の副読本を使って、桜島の爆発やその災害への備え等について学習しております。さらに、桜島の小、中学校では、総合的な学習の時間に、桜島ダイコンの栽培や椿油を生産する農業体験学習、桜島ミュージアム等と連携した探究学習など特色ある活動を行っております。</p> <p>また、市立科学館では、現在取組んでいる展示物のリニューアルのなかで、桜島を題材にした展示物を設置する予定としており、桜島について学べる環境をさらに充実させてまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	ホテル関係者 男性	<p>⑨ 市長には、ふるさと温泉について、どういった観光地づくりのイメージがあるのか。 昔、ふるさと温泉は“奥座敷”と言われ賑やかな時代があった。桜島港付近には近代的なレインボー桜島もあるが、それと対比してふるさと温泉をどのように活用していくのか。</p>	<p>⑨ 温泉について情報発信をするポスターにも、ふるさと温泉を使わせていただいていますし、来月(7月)の末に韓国でトップセールスをする際にも、ふるさと地域の温泉街を活用したPRをしていきたいと思えます。 鹿児島にとって、温泉は桜島がもたらしてくれる財産だと思えますので、ふるさと温泉だけでなく市内各地にある温泉をPRし、鹿児島に来ていただいて癒し、憩うイメージを作りたいと思っています。</p>	経済局	市長回答のとおり
		<p>⑩ 東桜島地区の(自然公園法による)第一種規制を撤廃してほしい。西桜島の方では撤廃されていて、コンビニも建てられるようになっているが、東桜島地区ではなかなか許可が下りない。 規制が撤廃されれば、若者が新しい職場を自分達で創造し、地元に住む消防団の方々も近辺で職が得られ、防災上も良い効果が得られる。</p>	<p>⑩ この地域には、お話のありましたような規制がかかっています。景観や環境を保持するために環境省が規制を行っていますので、地域の皆さんからこういった意見があるということと我々がアプローチをかけることも一つの手立てになろうかと思えますが、一方では、環境省としての考え方もあろうかと思えます。 このような意見があったということは、県を通じてお伝えいたします。</p>	環境局	市長回答のとおり
		<p>⑪ 35年ぐらい前に、ふるさと温泉に避難港の予算が付いたことがあったが、事情があって流れてしまった。 ふるさと温泉街のための避難港を、船着場も兼ねた形で造ってほしい。</p>	<p>⑪ 今まで、避難港を観光施設等の役割を担うために整備した事例はございません。 35年前の経緯は分かりませんが、桜島にある港は、避難港や漁港というそれぞれの役割を担っていますので、観光ルートとして港を整備するのは、なかなか難しいのではないかと思います。</p>	建設局	市長回答のとおり
		<p>⑫ 桜島口を開けて、桜島を島にしてほしい。 そうすれば錦江湾もきれいになるし、潮流発電もできるのではないかと思う。</p>	<p>⑫ 桜島口を掘削して海流を通すことについては、色々ご意見があります。 ひとつには、そこが閉塞しているために海流が上手くいかず、錦江湾の新陳代謝が図られないとか、大隈半島としっかり結びついているので利便性があるとか、漁港や漁場の問題など、色々大きな課題があると思っています。お話のありましたようなご意見をお持ちの方がたくさんおられることも、聞いております。 このことは鹿児島市だけでなく、国や県も含めた対応が必要だと思いますので、こういったご意見があったということは、国や県にも伝えていきたいと思えます。</p>	環境局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
		<p>⑬ 桜島フェリーの料金を見直してほしい。 見ていると、乗用車はたくさん載せているが人は少ないので、乗用車を運ぶ船と人を運ぶ船を分社化してコストダウンを図る。乗用車だけを運ぶ小さな船を造って、重量を下げて燃費を良くすればいいのではないか。人を運ぶのは民間会社にお任せし、フェリーの運賃が安くなれば、バスをそのまま渡す定期バスの路線ができるのではないか。赤字経営が続いているローカルバスの利用者にとって、ターミナルで降りずに鹿児島島の病院に行ったり、中央駅に行ったりして帰ってくる便があると、利用する価値が高まるのではないか。</p>	<p>⑬ 桜島フェリーは公共交通としての大きな役割を担っています。これまでは経営も順調に推移しておりましたが、昨今の東日本大震災や燃料費の高騰により、大変厳しい経営状況を強いられています。 お話のありましたように、車と人を分けてということになりますと、桜島の方に渡って来られる方々の利便性をどういった形で確保するかという課題も出てくるかと思えます。我々も桜島フェリーを十分活用する中で、対策を立てていかなければならないと思っています。 一方では、県の方で桜島架橋について検討し始めておりますので、それらの推移も見極めながら、どういった形で桜島フェリーを活用できるかということも研究課題の一つであろうと思っております。</p>	<p>交通局 船舶局</p>	<p>(交通局) バスの路線等につきましては、利用者ニーズなど情報収集をする中で、費用対効果を考慮しながら検討しています。 フェリーを利用したバス路線につきましては、限られた人員・車両台数で運行していることなど運行効率の面から、非常に難しいと考えていますので、ご理解ください。</p> <p>(船舶局) 船舶事業は、船舶燃料であるA重油価格が高止まりするなど厳しい経営状況にありますが、公営企業であるため、民間企業と異なり、経済性だけでなく同時に公共性を確保する必要があり、運賃についても、原価主義に基づき適正な運賃を設定しております。 また、桜島フェリーは、桜島地域と鹿児島市街地を結ぶ生活航路であり、薩摩・大隅両半島を結ぶ海上交通機関として安全・快適な運航を確保することが最大の使命であると考えております。 今後とも、各面からの経費節減・増収対策など、より一層の経営健全化に努めるとともに、乗客の多様化するニーズに応え利便性の向上を図るなど、公共交通機関として、その役割と機能の強化を図ってまいりたいと考えております。</p>
		<p>⑭ 降灰がひどく、ふるさと温泉の屋上には2トントラックで5～6台分がたまって下ろすのも大変だ。支所から袋をいただいているが、なかなか追いつかない状況だ。 道路の降灰除去はロードスイーパーがあるが、各家庭の屋根や入口で使えるような降灰除去機を、鹿大工学部などと協力して作ってほしい。バキュームカーのように吸い取る機械なら、車を改造すればそれほど費用はかからないのではないか。</p>	<p>⑭ 降灰除去機の研究開発については、鹿児島市や始良市、霧島市、垂水市、鹿屋市で組織する「桜島火山活動対策協議会」の中でも、文部科学省や国土交通省、そして県や大学を含めた関係機関へも要望しています。 今、国の方でその研究事業に出来るだけ早い時期に取り組んでいくという確約をもらっていますし、先般、防災担当大臣が来られた時にもその要望をしました。 お話のありましたバキューム式のものが作れるかどうかは今後の研究次第だと思いますが、お話のあったことを鹿児島大学や国土交通省にお伝えしたいと思えます。</p>	<p>市民局</p>	<p>機会をみて、鹿児島大学などに、バキューム式の降灰除去機について、技術的・コスト面を考慮したうえで、作成が可能か意見聴取など、実施したいと考えています。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30

場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	桜島地区民生委員児童委員協議会 男性	⑮ 高齢者が、集めた降灰を集積所まで持っていけない。たびたび目にするのだが、門のところに置いておけば、業者が善意で持って行ってくれるという話を聞いた。 この際、全世帯で門の見える所に置けるように要望したい。	⑮ 降灰が大変厳しい状況でありますし、また、宅地内の降灰除去をするために、高齢者の方々は難儀をされていると思います。これは、桜島地域だけではなく、鹿児島市全域で取り組んでいくべき課題です。 降灰の収集については建設局が中心になって対策を考えておりますので、今のご意見については、市全体でどういった形が有効か、また、高齢者に対してどういった手立てが必要かということを検討させてみたいと思います。	建設局	宅地内降灰指定置場につきましては、町内会からの置場の新設や増設などの要望を受け、現場を調査した上で、できるだけ要望に応えられるよう、取り組んでまいります。
6	桜島地区民生委員児童委員協議会 男性	⑯ 一人暮らしや高齢者の世帯を安否確認で訪問すると、最近の降灰量で、庭先の除去をするのに苦労している。こういった世帯の降灰除去について、行政の手厚い支援が出来ないか。	⑯ 各地域でそういう状況がございますし、今後も桜島の活動は活発化し、被害も大きくなっていくと思います。一人暮らしや高齢者の方々の宅地内の降灰除去について、どういった対策が必要か。これは防災対策とも繋がってくると思います。 各地域の民児協や消防団、関係団体のご協力を得ながら、要援護者に対する対応を図っておられると思いますが、それでも間に合わないのが現状ではないかと思えます。 一つには、それぞれの地域の方々にお願いするのが一番だと思いますが、なかなかそれが間に合わないということであれば、行政としてどういう形で迅速に、的確に対応できるのか、市全体として高齢者の方々への対策を考えていく必要があるかと思えます。業者に委託して除去してもらおうか、十分に検討させてみたいと思います。	市民局	地域コミュニティや福祉、降灰除去等、各面から、担当課の意見を聴取し、検討してまいります。
7	消防団 男性	⑰ 今年3月に黒神の“埋没鳥居”の正面に立派なトイレと駐車場が完成し、ありがたいと思っている。5月の大型連休には、車がスムーズに通行していた。 防災について、今、島内の企業者会の方々とは協定を結ばれて、防災訓練のたびに応援をもらってありがたいと思っているが、黒神地区の避難は漁船が担当することになっている。宇土地区の水産業者とも協定が結べれば、消防団も円滑に動けるのではないか。	⑰ お話のありました鳥居周辺のトイレは、皆さんからのご要望に対応させていただいたものです。いつも多くの観光客が来られるのになかなか駐車できず、トイレも学校のを借りているという実態があり、大変ご迷惑をおかけしていたというこれまでの経緯を踏まえ、しっかりとした整備をさせていただきました。 防災の関係で、水産業者の方々との協定締結につきましては、ひとつの大きな課題であると思っています。建設業界の皆さんとは協定を結ばせていただいて、1月12日の防災訓練にもご参加いただいています。地域でそれぞれ役割分担をしていくことで、地域の安心安全への意識が醸成されると思います。 お話のあったようなところとも、こちらからご相談をさせていただければと思っています。	市民局	鹿児島市は市内の漁業協同組合などと、海難救助や災害時の避難支援を行う鹿児島市救難所を設立していることから、この救難所を活用し、船舶を使用した避難体制の連携を進めて参りたいと考えております。 また、お話のありました水産業者との協定につきましては、避難体制や連携などを検証していく中で考えてまいりたいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	桜島地区民生委員児童委員協議会 男性	⑩ 高齢者と子供達の交流を深める「地域ふれあい交流助成事業」について、私の地域でも“鬼火焚き”などに活用し、大変いい事業だと思っているが、3年で(補助が)終わってしまう。 高齢者世帯の降灰除去や家の管理は、原則として個人が対応すべきものということは分かっているが、この事業に組み込めないか。	⑩ 地域の子供達と高齢者のふれあい、そして伝統的な行事を引き継いでいく中で教え、学ぶということはこれからの時代にとってたいへん有意義な事業だと思っています。今年から、今後10年間のまちづくりの指針となります総合計画を策定しましたが、その中で“文化・伝統”をしっかりと踏まえて引き継いでいく事業にも取り組んでいきます。 お話のありましたような、高齢者と子供達のふれあいの中で、防災や教育、観光振興といった色々な事業を地域の皆さんと一緒に進めていくことが大切だと思っていますので、今後、「地域ふれあい交流助成事業」の中にどういった項目を設けることが出来るか、検討させてみたいと思います。	健康福祉局 教育委員会	(健康福祉局) 「地域ふれあい交流助成事業」では、高齢者の生きがいづくりを促進し、あわせて小中学生等の高齢社会に対する理解を深めるため、地域において高齢者と小中学生等とのふれあい交流を図る事業を実施する団体に対して補助金の交付を行っております。 対象となる事業には、地域清掃や独居老人訪問等のボランティア活動も含まれておりますので、高齢者と子供たちが一緒に取り組む降灰除去活動等も助成の対象となりますことから、ご活用いただきたいと思います。 なお、この助成事業は地域の高齢者と小中学生が交流を図る事業がその地域で定着するきっかけを作るために行っており、同一事業につきましては3回までという限度を設けておりますが、スポーツ・レクリエーションや創作活動など幅広い事業が対象となり、異なる事業につきましては、回数を制限するものではありませんので、様々なふれあい交流事業を地域に根付かせていただきたいと思います。 (教育委員会) 文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業において、地域の伝統芸能の継承や、祭り、季節の風物詩等の情報発信など、地域の文化資源を守り育てる取組を進めることとしております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成24年6月29日(金)18:30～19:30
場所：東桜島公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	ホテル 男性	⑱ よりみちクルーズ船が非常に好調だ。 先ほど避難港についての意見もあったが、錦江湾と桜島を体験していただくためにも、小型船が自由に停泊できるような港の周辺整備を進めてほしい。	⑱ よりみちクルーズ船は毎日1便を運航し、大変好評です。私は市長就任以来、錦江湾を生かしたまちづくりを色々と模索してきています。3月に霧島錦江湾国立公園が設置されたので、そのことを契機にフェリーを使った錦江湾クルーズもこれから就航させていきたいと思っています。 小型船が停泊できるような避難港の整備をということですが、やはり避難港は災害時の拠点という位置づけですので、観光ルートとして使用するのには難しいのではないかと思います。桜島には多くの避難港や漁港がありますが、兼用できるかについては法的な制約もあろうかと思っておりますので、それらを見極めながら検討すべき事項だと思っております。	経済局 建設局	(経済局) 赤水漁港は第一種漁港に指定されており、その利用範囲は地元の漁業を主とすることとされています。漁船以外の船舶の停係泊については、鹿児島市漁港管理条例第11条第2項により制限されており、現在、漁船以外の船舶の利用は事実上困難な状況となっています。 (建設局) 河川港湾課で管理している港湾は、避難港と漁船を係留する漁船対策港がございます。 避難港については、桜島爆発時の島外へ避難するための重要な拠点となっており、船が係留されていると円滑な避難体制に支障をきたす恐れがあること、漁船対策港は、地元の漁船が係留しておりスペースに十分な余裕がないことから、対応は難しいと考えております。
		⑳ 近年、桜島の火山活動の活発化に伴い、ホテルの宿泊客は減少傾向にある。色々な工夫をしながら降灰対策に当たっているが、多くの水を使用する。市街地よりも厳しい環境下で事業運営する我々にとっては、水道使用料が大きな負担となっているので水道料金の単価の見直しを行っていただき、事業所税の減免もしてほしい。	⑳ 事業所税は地方税法に基づく目的税として徴収していますが、その中で減免措置もございますので、対象となる場合は申請していただければと思います。 水道料金については、私共も頭の痛いところで、桜島地域が大きな被害を受けておられることは認識しています。しかし、桜島だけではなく他の地域もそういった状況にありますし、事業所や個人の皆さんも降灰除去に水を使っておられる方がたくさんおられます。水道局は独立採算で運営をしており、経営も大変な状況にあろうかと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。 今後、このような状況が続くようであれば、鹿児島市全域で対応していかなければいけないと思っております。さらには、鹿児島市だけではなく、垂水市や鹿屋市、霧島市、始良市で構成する協議会としての国・県への要望にもなろうかと思っております。それぞれの地域で抱える悩みをお互いに共有しながら対応できればと思いますが、現時点では水道料金の減免はできないと考えています。	総務局 水道局	(総務局) 事業所税は、地方税法により目的税として位置づけられておりますが、道路や下水道、廃棄物施設の整備など本市のまちづくりを進める上での貴重な財源となっているところでございます。 減免ということですが、事業所税については、その趣旨、目的からみて事業所税を軽減すべきであると考えられる事業所については、地方税法の規定により一定割合を軽減する措置がとられており、ホテル旅館業についても、客室や食堂など宿泊客の利用に供する施設にかかる資産割の二分の一を控除するなど、一定の軽減措置がなされているところであり、ご理解いただきたいと思っております。 (水道局) 市長回答のとおり